

JCN 第4回現地会議in福島

テーマ2「学ぶ」

— 福島県の団体を支える組織の取り組みから学ぶ。 —

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 運営支援者の活動について

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 運営支援者

前橋市社会福祉協議会 ボランティアセンター

高山 弘毅



本日本話すること

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議とは？
(通称：支援P)

東日本大震災における支援Pによる活動概要

現在の活動と課題、今後

前橋市社会福祉協議会職員としてのわたしの事を少し

災害ボランティア活動
支援プロジェクト会議
(通称：支援P) とは？

災害ボランティア活動支援 プロジェクト会議（支援P）

企業・NPO・共同募金会・社会福祉協議会等で構成されるネットワーク組織。災害ボランティア活動の環境整備を目指す。人材、資源・物資、資金を有効に活用するために現地支援を展開。2004年に発生した新潟中越地震の後、復興活動への助成や活動の検証調査を行うため、2005年1月に中央共同募金会に設置。

災害ボランティア活動の
環境整備を目指しています。

- ◆災害ボランティア活動を支える人材、
資源・物資、資金を有効に活用する
ための現地への広域的支援
- ◆平常時には災害支援に関わる調査・
研究、人材育成や啓発活動を実施。

運営体制

設置主体：社会福祉法人 中央共同募金会

委員（幹事 赤文字）

【事務局】 **阿部陽一郎**（中央共同募金会）、**石井布紀子**（さくらネット）

【社 協】 **野崎吉康**（全国社会福祉協議会）、北川進（宮城県社会福祉協議会）
西原弘将（大阪府社会福祉協議会）、戸崎洋子（諏訪市社会福祉協議会）

【NPO】 **田尻佳史**（日本NPOセンター）、**栗田暢之**（レスキューストックヤード）、
桑原英文（JPC om）、山岸孝博（中越復興市民会議）
李仁鉄（にいがた災害ボランティアネットワーク）、
白鳥孝太（シャンティ国際ボランティア会）、

【共 募】 鷹尾大英（福井県共同募金会）、中島孝夫（神奈川県共同募金会）

【企 業】 野上田縁（株式会社損害保険ジャパン）、 鬼山雅子（日本航空株式会社）
山ノ川実夏（MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社）
1%（ワンパーセント）クラブ

【その他】 森本勝也（日本青年会議所）、山内明子（日本生活協同組合連合会）、

2011年度、2012年度 臨時委員

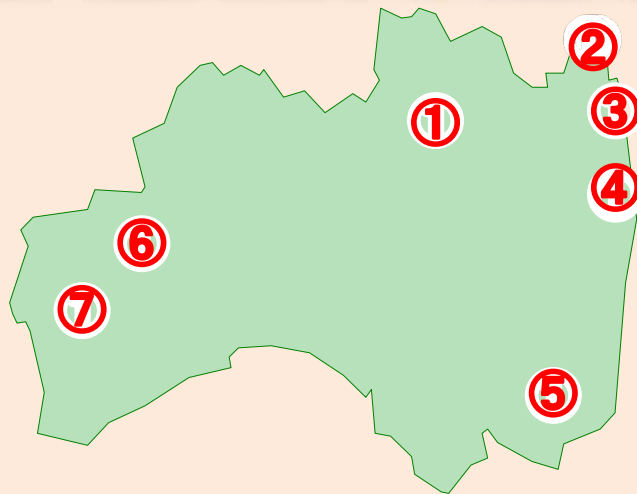
後藤麻理子（日本ボランティアコーディネーター協会）

吉実正博（広島県共同募金会）

長谷部治（神戸市社会福祉協議会）

東日本大震災における 支援 P による活動概要

災害ボランティア活動の 運営支援者の派遣



	福島県		岩手県		宮城県
①	県本部	1	県本部	1	県本部
②	新地町	2	宮古市	2	気仙沼市
③	相馬市	3	山田町	3	女川町
④	南相馬市	4	大槌町	4	石巻市
⑤	いわき市	5	釜石市	5	南三陸町
⑥	(只見町)	6	大船渡市	6	東松島市
⑦	(金山町)	7	陸前高田市	7	岩沼市
				8	亘理町
				9	山元町

被災3県の各災害ボランティアセンターに専門性と経験値のある人材を派遣し、被災した方々主体の災害ボランティア活動となるよう支援。福島では7か所の災害VCに運営支援者を派遣、県内巡回を並行して実施。H23年7月に発生した新潟・福島豪雨災害にも対応。(⑥、⑦は豪雨災害)

運営支援者派遣数


	所属が社協以外	所属が社協	合計
福島	808	858	1,666
宮城	981	271	1,252
岩手	1,628	250	1,878
巡回	125	12	137
東日本大震災計	3,452	1,391	4,933
新潟・福島豪雨災害（福島）	39	85	124
新潟・福島豪雨災害（新潟）	3	0	3
総計	3,584	1,476	5,060

（2011年3月～2012年3月実績）

過去の災害では社会福祉協議会職員の派遣比率が高かった。日本ボランティアコーディネーター協会、大阪ボランティア協会、ACE、難民支援協会等のNPO/NGO、生協など、派遣団体が広がり、社協以外の比率が高くなった。

物資の提供

- ◆災害ボランティアセンターの運営資機材
企業からの提供：プレハブ、P C、携帯電話、車両、自転車、スクーター、飲料、土
嚢袋等 ※その他、現地が必要とする資機
材を購入・レンタル
- ◆「うるうるパック」のお届け



被災されたみなさまへ

このたびは、突然の地震による被害に遭われ
たこと、心からお見舞い申し上げます。
この「うるうるパック」は、企業とNPOの方々
からのささやかなお見舞いの気持ちです。
一日も早い復興をお祈り申し上げます。

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議

企業人ボランティアプログラムの実施

- ◆主催：支援P
- ◆参加者募集：1%（ワパ°-セント）クラブ
- ◆実施時期：4月下旬～8月下旬までに20回
- ◆活動先：岩手県(10回)
宮城県(3回)
福島県(7回)
- ◆参加者数：49社・グループ°延642名
(コーディネーター 延69名)
→総活動人数延2101名

現在の活動と課題、今後

現在は…

◆福島県社協による各方部の応急仮設住宅支援等に関する連絡会への参加を通じての情報収集

◆市民活動団体、中間支援組織、市町村社協の拠点や、それぞれが活動する現場、実施する会議、ワークショップなどにお邪魔しお話を伺いつつ、必要に応じたコーディネーション

課題…

◆支援Pが生活復興期に亘って現地で支援活動に取り組むのは初めて…緊急救援期～災害復旧期に築いた市民活動団体、中間支援組織、県・市町村社協との信頼関係を基に、それぞれの悩みを伺ったり、問題解決についてお手伝いしたりはできているが、広域的・包括的なプロジェクトを動かせていない。

そんな中見えてきたこと…

◆市民活動団体、中間支援組織と県・市町村社協との関係づくりのお手伝いが出来ないか？連携・協働の前にまず対話から…。

◆新しい組織・ネットワークが多く立ち上がっている。組織運営に慣れた人ばかりではない中で聞こえてくる共通の悩み。学びの場を提供できないか？

例えば…

財務、チームビルディング、会議の持ち方、スタッフのストレスマネジメントなど。

そんな中見えてきたこと…

◆福島特有の支援の困難さからくる支援者の疲労困憊。リフレッシュの場が提供できないか？…例えば場を変えての研修やインフォーマルな集まりなど。

県内中間支援組織、社会福祉協議会等と対話、連携しながら個々の団体、個々のスタッフに必要なものを届けていきたい。

前橋市社会福祉協議会職員
としてのわたしの事を少し



前橋市が運営するアンテナショップ「ふくしまや」と学生団体福島大学災害VC、市民活動団体「まえばし×ふくしま部」共催の芋煮会

いわき市への市民ボランティア活動集会を伝える市社協広報誌



いわき市社協職員と前橋社協職員の意見交換会

いわき市ボランティア連絡会と前橋市ボランティア団体連絡協議会はホーム＆アウェイ方式で交流会を行っています。

支援Pという看板だけを掲げている運営支援者はいない

◆私に限らず各メンバーの所属組織が今も県外からの活動を展開している。市民活動団体、中間支援組織、共同募金会、社会福祉協議会、消防士に僧職系男子…元々支援Pが持っているリソースと合わせ、それぞれの組織の持つ強みやネットワークを持ち寄り、相乗効果を生みながら活動している。

◆一方で支援Pの活動に専念するメンバーはいないため、福島に拠点はなく、限られた時間での活動。「信頼に足る余所者」となれるよう復興支援に取り組む県内活動組織のサポートをさせていただきたい。